



No.03 令和 6 年 6 月 14 日発行

三条市立栄中学校

電話 0256(45)3873

FAX 0256(45)3874



<https://www.city.sanjo.niigata.jp/section/sakaechu/>

栄中創設 46 年目

昨年は校歌の話をしました。栄中学校が 1978 年に誕生し、翌年に新潟県出身の宮柊二先生（北原白秋氏の弟子）に作詞を依頼し、先生が実際に栄中を訪問して学校の様子を見て、校歌を作詞されたという話をしました。先生からのお手紙の内容を伝え、校歌を歌い継いでいってほしい、そして、学校を愛していってほしいという話しをしました。今年度はその続きとして、栄中学校の歴史（校舎の歴史が栄中の歴史）を紹介します。

1947 年（昭和 22 年）に「学校教育法」施行により、全国に中学校ができました。当時は大面村立大面中（現大面小の場所に併設）と福島村立福島中（現栄給食調理場や野球場）でした。太平洋戦争終戦の 2 年後で日本が世界の地図から消えた時代です。占領下の日本、連合軍総司令部（GHQ；最高司令官マッカーサー）の支配下日本です。1952 年にサンフランシスコ平和条約で、日本の独立がアメリカなどの連合国側に認められるまで日本は地図から消えました。そんな時代背景の下、中学校が始まりました。大面中の記録によると 1947 年の 10 月 8 日～10 日に天皇陛下の新潟巡幸が行われ、中学生も帯織駅に見送りに行ったという記録が学校の記録に 6 ページ程書かれています。当時の記録担当の先生が記入されていました。当時の様子がよくわかる記録ですごいと思います。

当時の中学校は「農繁期休業」が春と秋にあり、修学旅行も 1～3 年まで、全学年が行っていました。3 年のみ一泊二日の宿泊旅行（後に 2 泊 3 日、3 泊 4 日もあったようです）で 1、2 年は日帰りの修学旅行です。1、2 年の旅行先は瀬波や直江津といった県内旅行で、3 年は東京（後に鎌倉や日光も追加）です。夜行電車で行った時もあったようです。1956 年（昭和 31 年）に 2 つの村が合併し栄村となりました。その後、1978 年（昭和 53 年）に栄村立栄中学校として現校舎が完成しました。当時はかなりの予算で最新鋭の校舎を村民の願いで建てたそうです。その前年に「校章」のアイデアを募集し、福島中 2 年の津原玉枝さんのアイデアが採用され、前三条高校の斎藤教諭がデザインを工夫し現在の栄中の校章デザインになりました。4 つの葉型と栄の漢字の「ツワかんむり（正式な呼び方はないそうです）」の 4 つの部品を表しているそうです。また、古来の日本では四天王や四季（春化春秋）の移り変わりなど、四を大切にしてきたので 4 つの葉でそれを表した、という意味もあるようです。

栄中ができた 3 年後、1981 年（昭和 56 年）に村から町（人口が増えると町となる）と変わり、栄町立栄中学校となりました。昭和 50 年代後半から平成 10 年頃まで生徒数も増え、1 つの学年で 5 組まであり、平成 10 年頃まで 1～3 年生まで 15 学級という状況となりました。教室が足りず 1986 年（昭和 61 年）に 2 教室、1991 年（平成 3 年）にはさらに 2 教室が増設となりました。場所は 3 階、美術室の奥にある教室、今の学習室 4 や生徒会室の奥にある教室です。生徒数が最大だったのは 1993 年（平成 5 年）で、全校で 552 名の生徒数となっています。今年（令和 6 年度）の全校 286 名のほぼ倍です。

その後、2005 年（平成 17 年）に三条市と合併し、現在の三条市立栄中学校となりました。あと 4 年後の 2028 年（令和 10 年）に 50 周年となります。今までの地域の方々の思いや先輩方の思いを引き継いで、バトンを後輩たちに渡していってほしいと思います。校舎も大切にすることはもちろん、伝統や思いを大切にしていきたいと思います。どんなバトンが栄中にふさわしいのか、一人一人がぜひ考えて実行していきたいと思います。（文責；校長）